

# 経営戦略の改定 について

公共下水道・農業集落排水・公共浄化槽

---

令和 6 年 8 月 22 日 (木) リリックおがわ  
上下水道課 下水道グループ

# 経営戦略とは・・・

---

地方公営企業が必要なサービスを将来に渡り安定的に継続していくために、中長期的な基本計画として策定し、経営基盤の強化等を推進しようとするもの。

# 経営戦略とは・・・

---

経営戦略は以下の3つで構成

- ①経営状況の現状把握
- ②将来の経営状況の予測
- ③今後の方針

# 公共下水道・農業集落排水

## 【①現状の把握】

---

	年間有収水量	行政人口	処理区域内 人口	水洗化人口	接続率
公共下水道	1,455,641m <sup>3</sup>	28,046人	15,620人	12,746人	81.6%
農業集落排水	138,315m <sup>3</sup>		1,465人	1,361人	92.9%

(令和4年度末現在)

# 公共下水道・農業集落排水

## 【①現状の把握】 [令和4年度決算]

収益的収支	公共下水道	農業集落排水
収入	5億6955万円 うち使用料収入 2億315万円	1億930万円 うち使用料収入 1842万円
支出	5億2835万円	9 3 4 5万円
利益	4 1 2 0万円	1 5 8 6万円

企業債（借入金）  
の返済は含まれま  
せん。

# 公共下水道・農業集落排水

## 【①現状の把握】 [令和4年度決算]

公共下水道で4,120万円、農業集落排水では1,586万円の利益が出ています。

利益は、企業債（借入金）返済の原資の一部などに使います。

	公共下水道	農業集落排水
企業債返済額	2億7805万円	3673万円
企業債残高	44億1293万円	3億8956万円

# 公共下水道・農業集落排水

## 【①現状の把握】 [令和4年度決算]

利益は出ているが・・・

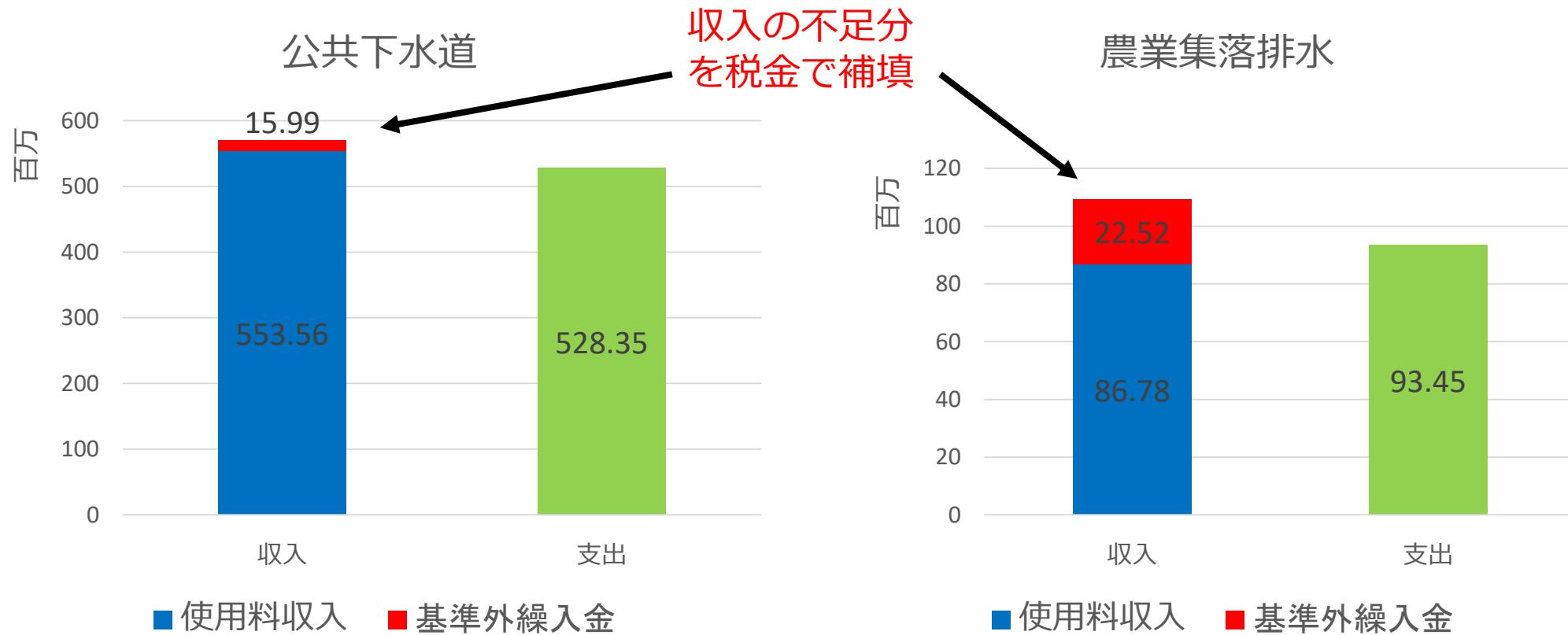
実際は、企業債（借金）の返済などに使うための資金が確保できるように  
(利益が出るように) 収入の不足分を税金で補填しています。

= 「基準外繰入金」

	公共下水道	農業集落排水
基準外繰入金	1 5 9 9 万円	2 2 5 2 万円

# 公共下水道・農業集落排水

## 【①現状の把握】 [令和 4 年度決算]



# 公共下水道・農業集落排水

## 【①現状の把握】 [令和4年度決算]

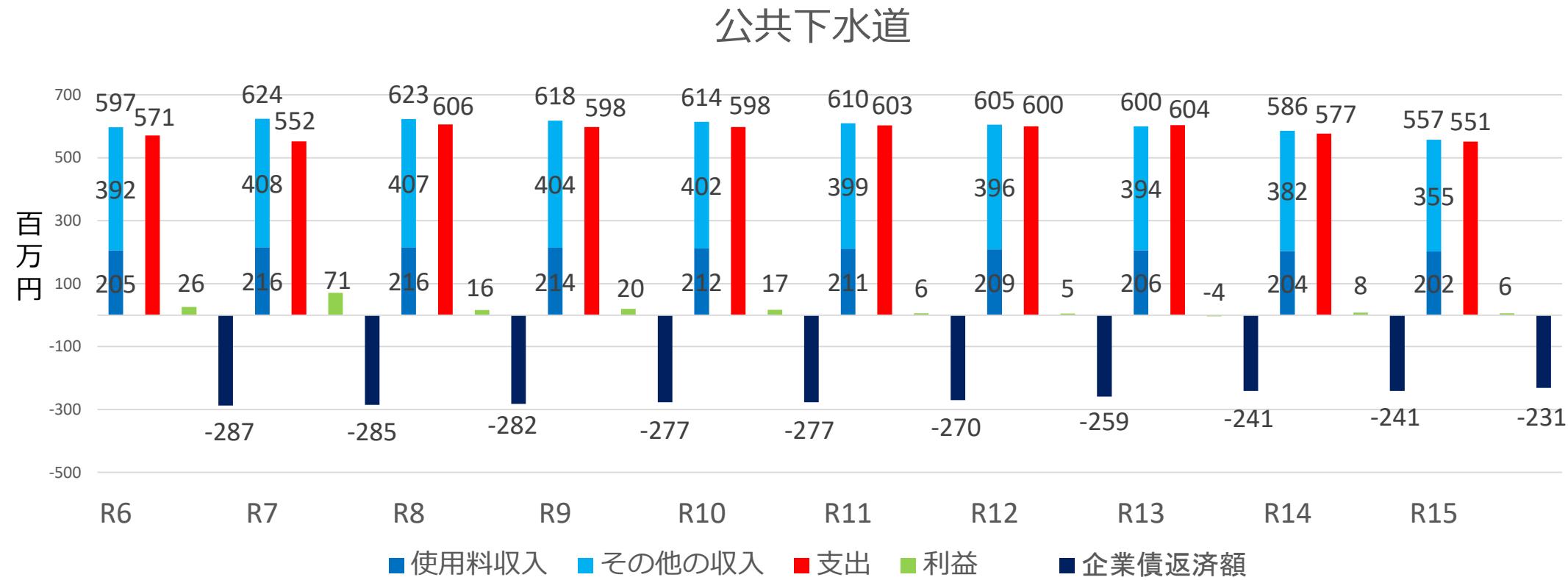
---

収入の不足分を補填するために、**公共下水道や農業集落排水を  
利用できない地区を含む町の税金を下水道・農業集落排水会計  
に投入していますが、**

**「公営企業」は、その事業に伴う収入によって経費を賄い、  
自立性をもって事業を継続していく独立採算制が原則です。**

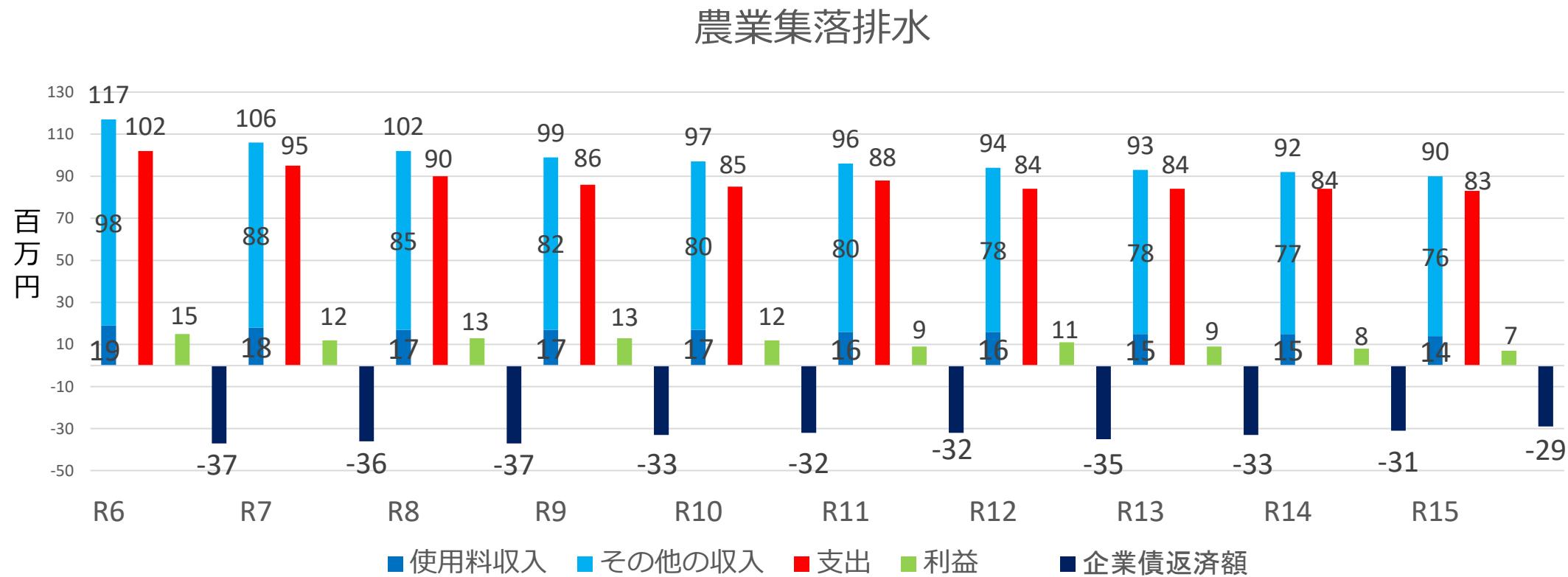
# 公共下水道・農業集落排水

## 【②将来の経営状況の予測】 [収支予測]



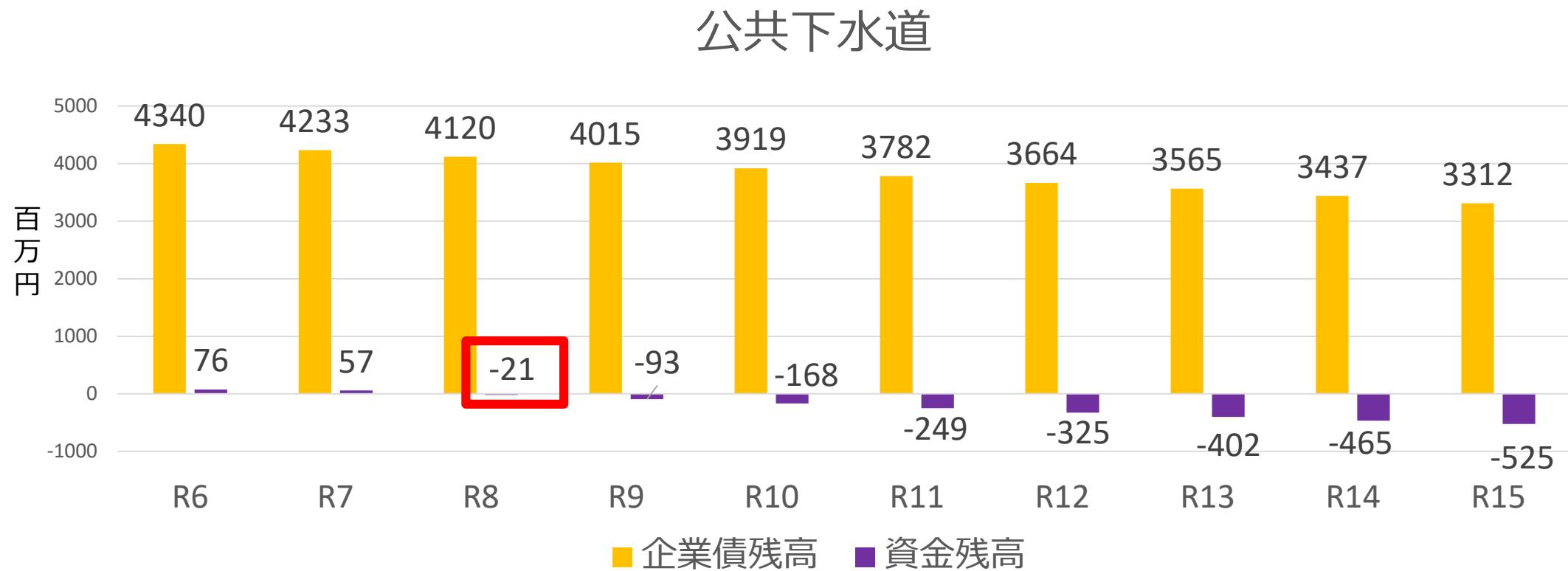
# 公共下水道・農業集落排水

## 【②将来の経営状況の予測】 [収支予測]



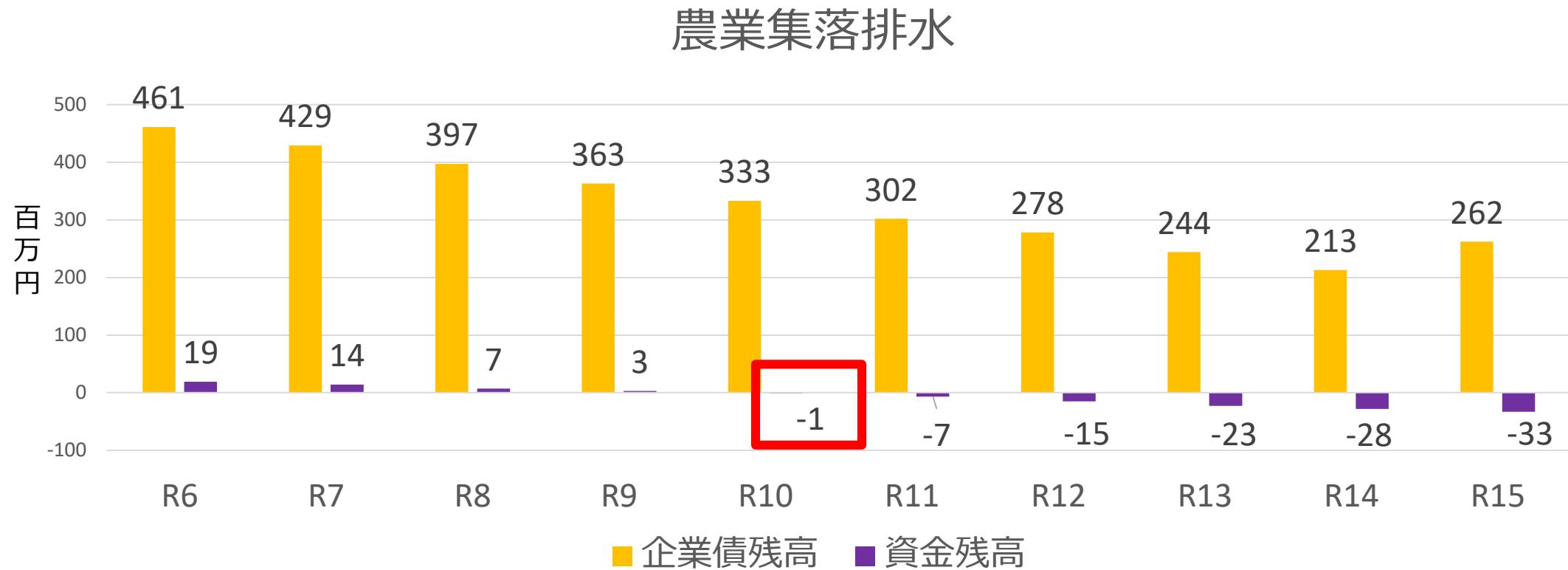
# 公共下水道・農業集落排水

## 【②将来の経営状況の予測】[企業債と資金の残高]



# 公共下水道・農業集落排水

## 【②将来の経営状況の予測】[企業債と資金の残高]



# 公共下水道・農業集落排水

## 【②将来の経営状況の予測】

---

公共下水道は令和 8 年度に、農業集落排水  
は令和 10 年度に資金が不足する見通しと  
なりました。

# 公共下水道・農業集落排水

## 【③今後の方針】 [経営の基本方針]

---

- ①施設の適正な維持管理
- ②使用料による財源の確保
- ③一般会計からの繰入金の抑制
- ④経費回収率の維持・向上
- ⑤P D C Aサイクルの確立

# 公共下水道・農業集落排水

## 【③今後の方針】 [課題]

---

- ①経費の削減
- ②財源の確保
- ③繰入金の削減

# 公共下水道・農業集落排水

## 【③今後の方針】 [財政健全化に向けた取組]

---

計画的な維持管理、また、人口減少に伴う汚水量の減少などに対応するため施設のダウンサイジングや統廃合により経費の削減を図ります。

# 公共下水道・農業集落排水

## 【③今後の方針】 [財政健全化に向けた取組]

---

資金不足を解消し、2033（令和15）年度に【下水道1億円】【農業集落排水 1000万円】の資金残高を確保しようとした場合、使用料収入を令和8年度から【下水道：38%】【農業集落排水：35%】増収させる必要があります。

# 公共下水道・農業集落排水

## 【③今後の方針】 [財政健全化に向けた取組]

---

このため、令和6年度に実施する水道料金改定の平均引き上げ率21%を考慮し、**令和8年度の改定に向けて下水道事業審議会において適正な使用料の算定・検討を行うこととします。**

# 公共浄化槽 【①現状の把握】

令和2年度から始まった事業  
令和5年度末で12基を整備

	R3	R4	R5
年間設置基數	6	3	3
累計	6	9	12

人槽区分	月額使用料 (税込み)	随時使用料 (税込み)
5人槽		
7人槽	3,300円	
10人槽		
11人槽以上	3,300円+10人槽を超えた部分に、人槽当たり275円を乗じた金額	くみとり汚泥10リットルにつき110円
共同浄化槽	1戸当たり3,300円	

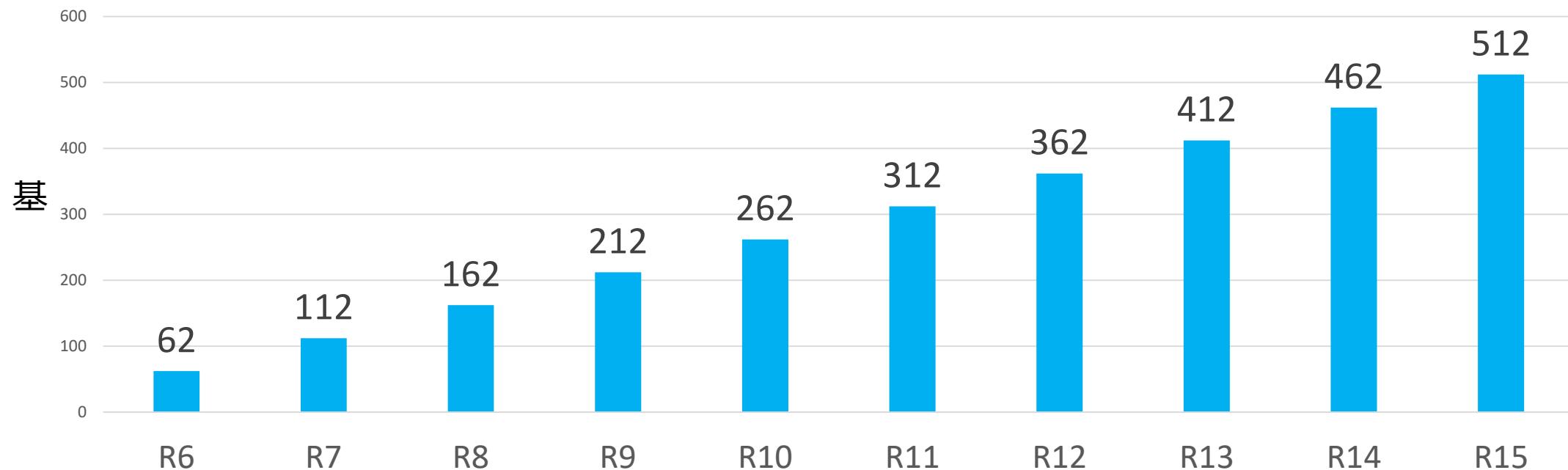
# 公共浄化槽 【①現状の把握】

公共浄化槽	
収入	980万円
	うち使用料収入 27万円
支出	751万円
利益	229万円

# 公共浄化槽

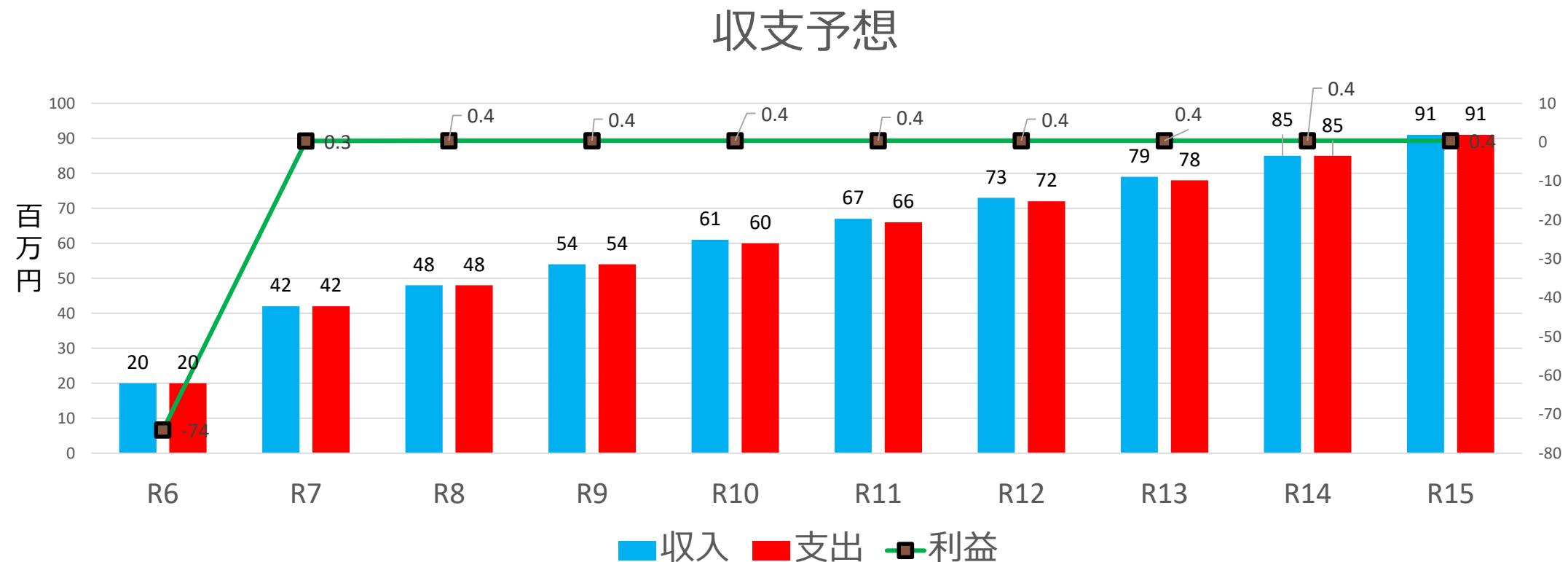
## 【②将来の経営状況の把握】

浄化槽設置基数想定数



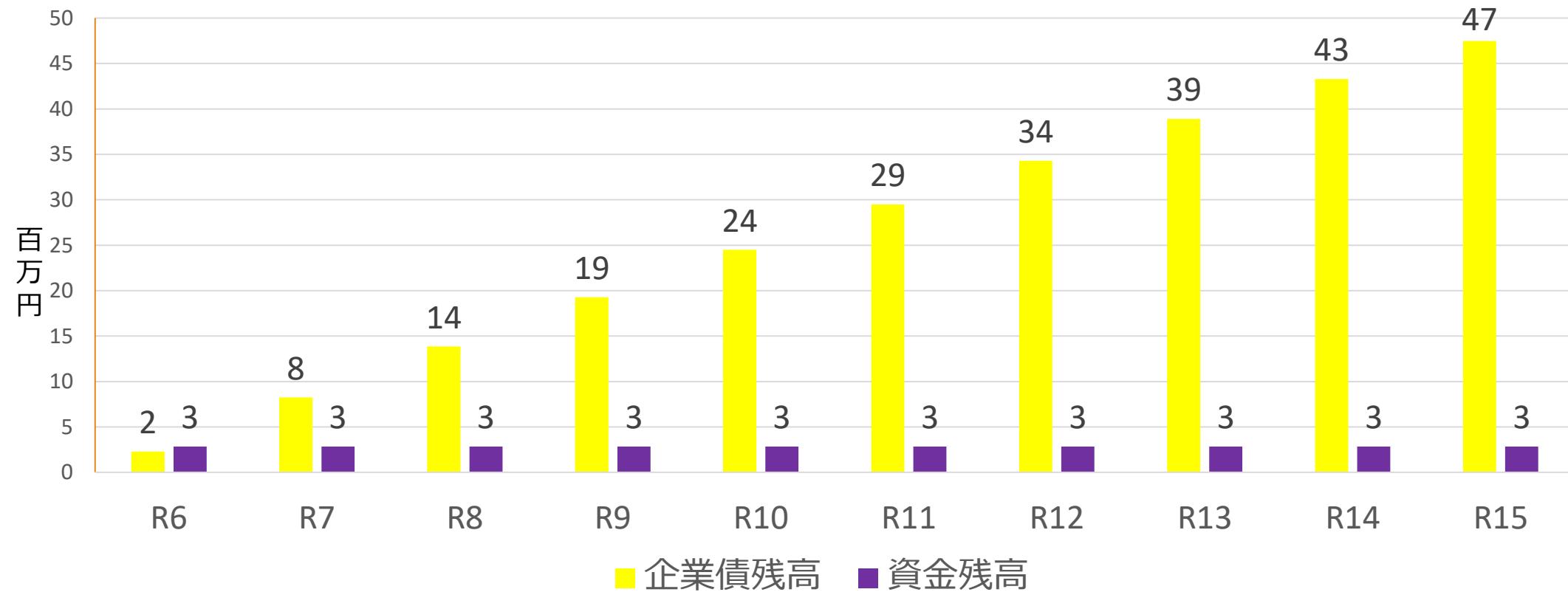
# 公共浄化槽

## 【②将来の経営状況の把握】



# 公共浄化槽

## 【②将来の経営状況の把握】



# 公共浄化槽

## 【③今後の方針】

---

### ○基本方針

- ①生活排水処理基本計画の推進
- ②適正な維持管理
- ③財政の健全化

### ○課題

- ①財源の確保
- ②繰入金の削減

# 公共浄化槽

## 【③今後の方針】

---

開始して間もない事業であり、設置基數も  
僅かなため、現行の使用料体系を継続し、  
設置基數の増加を推進していきます。